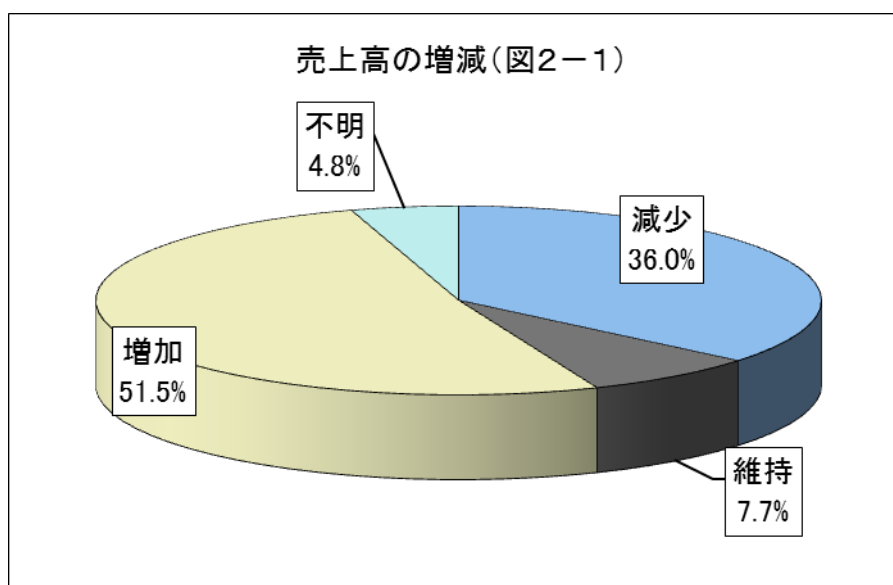


2 営業成績の状況

(1) 売上高の増減

仲卸業者全体のうち、約5割の仲卸業者が前期に比べ売上高が増加した。また、約3割6分の仲卸業者が売上高を減少させているが、前年に比べて減少した業者の割合は3.5ポイント減少した。

※ 前年調査 減少 39.5%、維持 8.5%、増加 49.9%、不明 2.1%



売上高の増減を部類別にみると、全ての部類で増加した業者が最も多い結果となった。

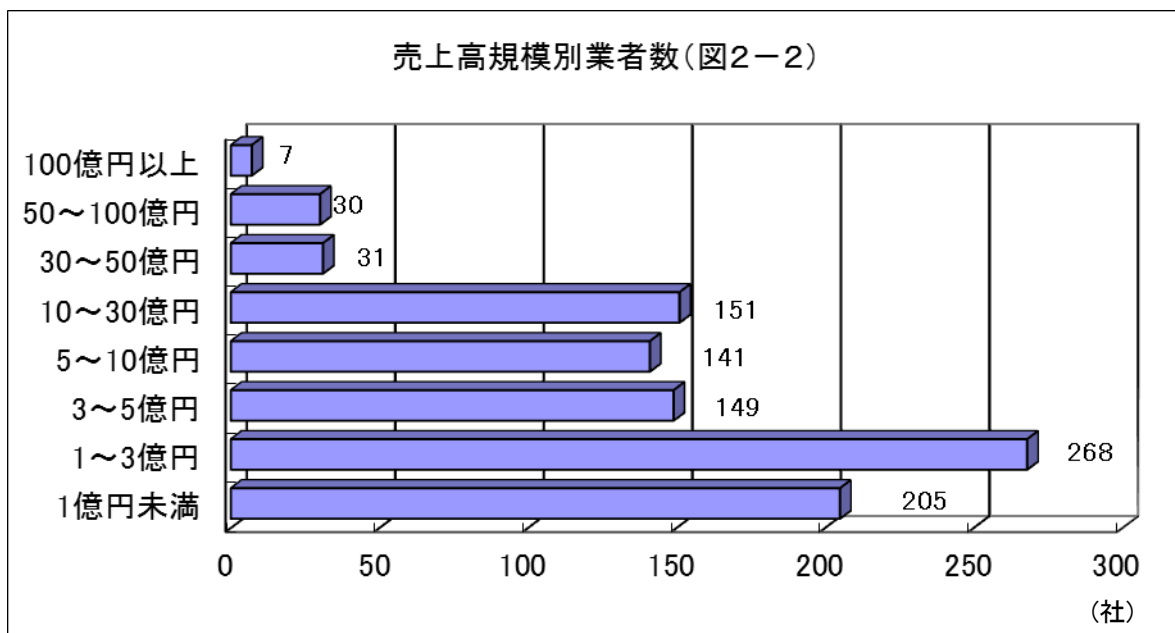
部類別・売上高の増減(表2-1)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全体	51.5%	7.7%	36.0%	4.8%
水産物部	47.4%	8.5%	38.1%	6.0%
青果部	56.4%	6.3%	34.6%	2.7%
花き部	56.1%	9.8%	31.7%	2.4%
食肉部	80.8%	3.8%	11.6%	3.8%

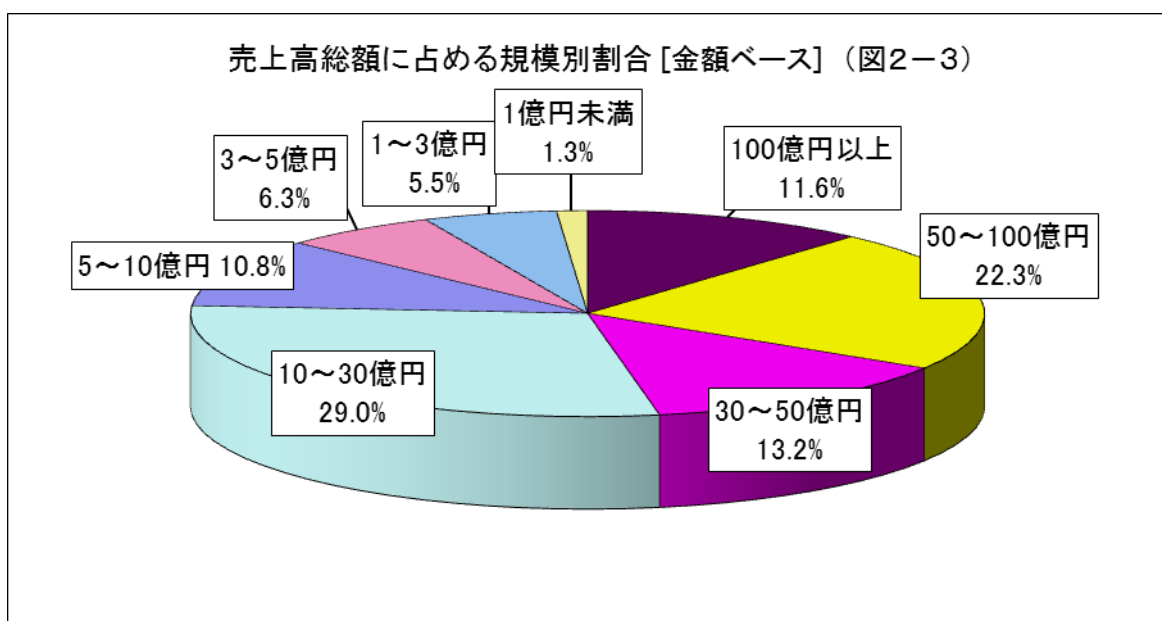
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(2) 売上高の規模別業者数

仲卸業者全体のうち、約半数（473社、48.2%）は、売上高が3億円未満の業者となっている。



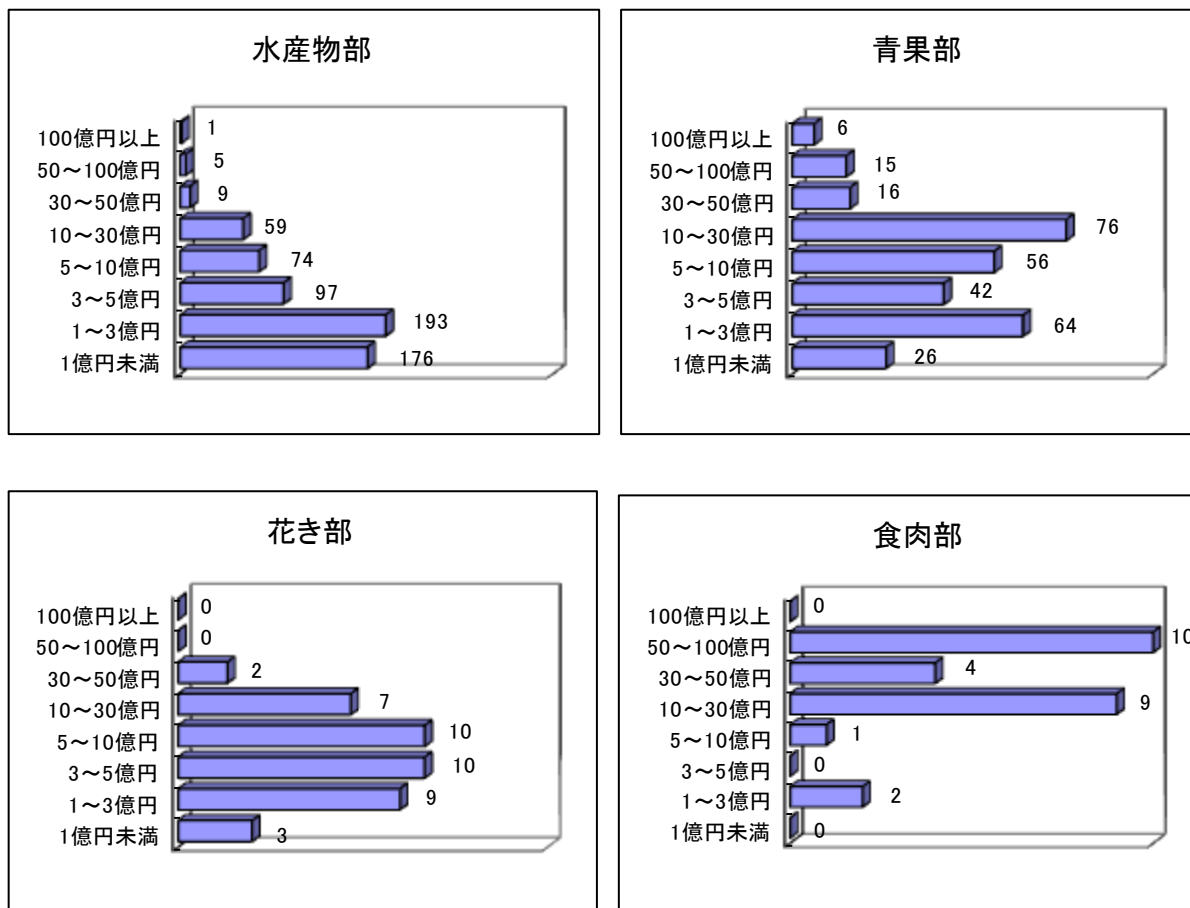
金額ベースにした売上高総額に占める規模別割合で見ると、約半数を占める3億円未満の業者のシェアは6.8%にすぎない。



(3) 売上高の規模別・部類別業者数

売上高の規模別業者数を部類別にみると、水産物部では1億円～3億円の層が、青果部では10億円～30億円の層が、花き部では3億円～5億円と5億円～10億円の層が、食肉部では50億円～100億円の層が最も多くなっている。

売上高規模別・部類別業者数（図2-4）



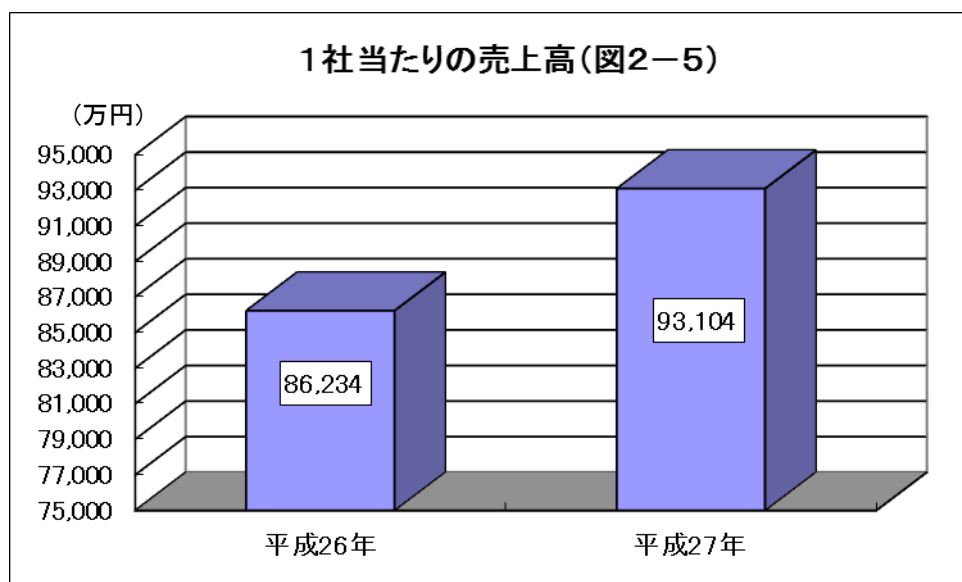
売上高規模別・部類別業者数（表2-2）

単位：社

	全 体	水 産 物 部	青 果 部	花 き 部	食 肉 部
100億円以上	7 (0.7%)	1 (0.2%)	6 (2.0%)	0 (-)	0 (-)
50～100億円	30 (3.1%)	5 (0.8%)	15 (5.0%)	0 (-)	10 (38.5%)
30～50億円	31 (3.2%)	9 (1.5%)	16 (5.3%)	2 (4.9%)	4 (15.4%)
10～30億円	151 (15.3%)	59 (9.6%)	76 (25.2%)	7 (17.0%)	9 (34.6%)
5～10億円	141 (14.3%)	74 (12.0%)	56 (18.6%)	10 (24.4%)	1 (3.8%)
3～5億円	149 (15.2%)	97 (15.8%)	42 (14.0%)	10 (24.4%)	0 (-)
1～3億円	268 (27.3%)	193 (31.4%)	64 (21.3%)	9 (22.0%)	2 (7.7%)
1億円未満	205 (20.9%)	176 (28.7%)	26 (8.6%)	3 (7.3%)	0 (-)
合 計	982	614	301	41	26

(4) 1社当たりの売上高

仲卸業者全体の1社当たりの売上高は、前年の8億6,234万円から9億3,104万円と、6,870万円(8.0%)増加した。



部類別にみると、前年に比べ全ての部類で増加した。

1社当たりの売上高(表2-3)

	平成26年	平成27年	増減率
全体	86,234 万円	93,104 万円	108.0 %
水産物部	46,273 万円	52,163 万円	112.7 %
青果部	147,218 万円	152,442 万円	103.5 %
花き部	77,092 万円	80,416 万円	104.3 %
食肉部	342,056 万円	393,001 万円	114.9 %

(5) 売上総利益率の変化

売上総利益率（いわゆる粗利益率）は、全体では前年に比べ0.15%下降した。部類別にみると、青果部では上昇し、その他の部類では下降した。

売上総利益率（表2-4）

	平成26年	平成27年
全体	12.71%	12.56%
水産物部	14.77%	14.30%
青果部	12.07%	12.27%
花き部	17.34%	17.01%
食肉部	7.40%	7.00%

売上総利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合をみると、全体では下降した業者が上昇した業者を上回った。部類別にみると、水産物部、食肉部では下降した業者が半数を超えた。その一方で、青果部、花き部では上昇した業者が半数を超えた。

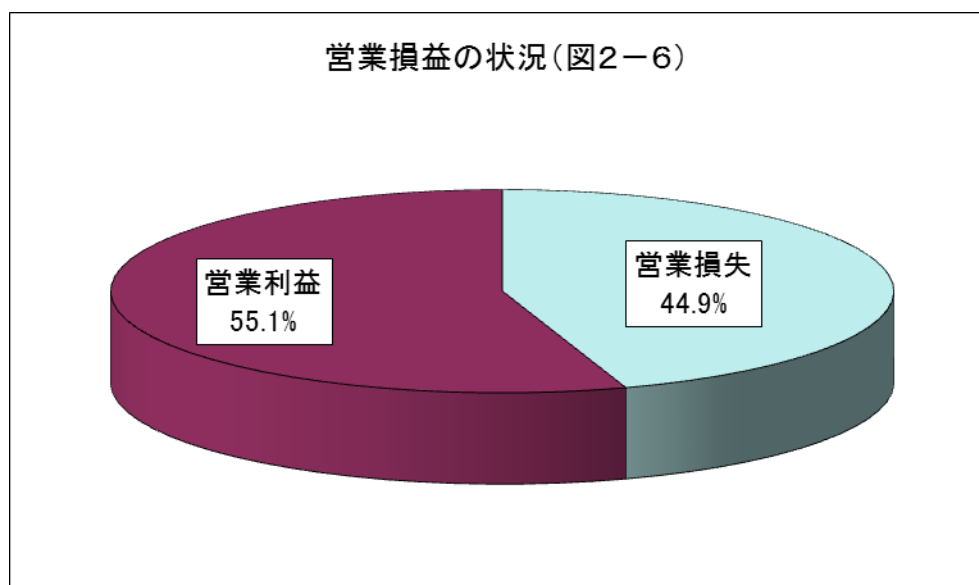
売上総利益率の変化（表2-5）

	上昇した業者	下降した業者	不明
全体	43.6%	51.6%	4.8%
水産物部	39.3%	54.7%	6.0%
青果部	50.5%	46.8%	2.7%
花き部	63.4%	34.2%	2.4%
食肉部	34.7%	61.5%	3.8%

(6) 営業損益の状況

営業利益(黒字)を計上した業者の割合が55.1%、営業損失(赤字)を計上した業者の割合が44.9%と、前年に比べ、黒字となった業者の割合が増加した。

※ 前年調査では、黒字：赤字 = 51.8%：48.2%



全ての部類で半数以上の業者が黒字となった。

営業損益の状況 (表2-6)

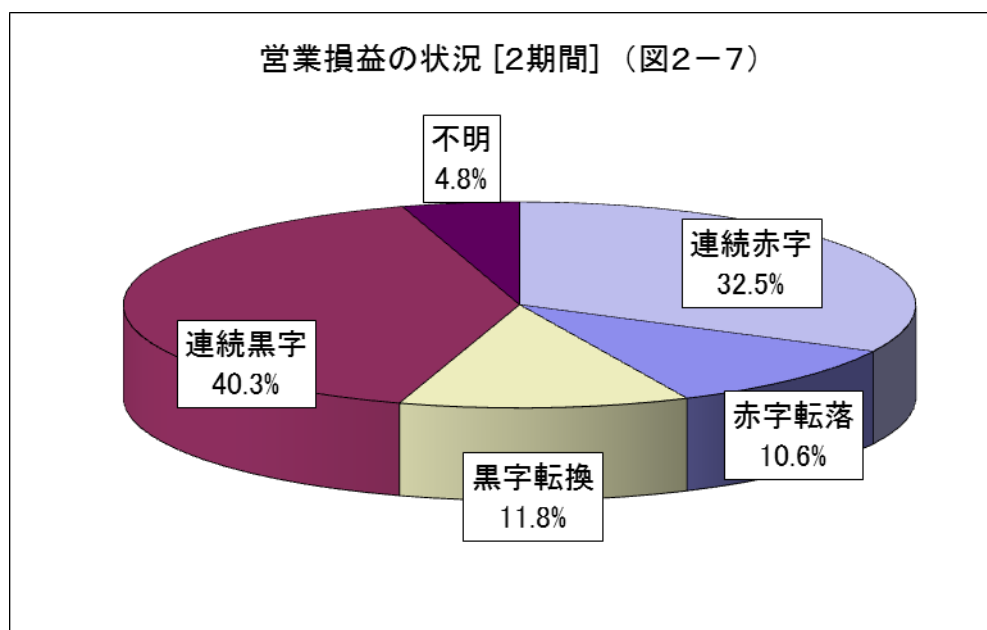
() 内は前年調査の数値

	営業利益 [黒字業者]	営業損失 [赤字業者]
全 体	55.1 % (51.8%)	44.9 % (48.2%)
水産物部	52.0 % (50.0%)	48.0 % (50.0%)
青果部	59.1 % (52.8%)	40.9 % (47.2%)
花き部	65.9 % (59.5%)	34.1 % (40.5%)
食肉部	65.4 % (72.0%)	34.6 % (28.0%)

(7) 営業損益の状況 (2期間)

営業損益が2期連続して黒字計上となった業者は40.3%、2期連続して赤字計上となった業者は32.5%となった。黒字に転換した業者は11.8%、赤字に転落した業者は10.6%となった。

※ 前年調査 連続黒字38.8%、連続赤字35.2%、黒字転換12.4%、赤字転落11.5%



部類別にみると、2期連続して黒字となった業者の割合は、食肉部が最も多く65.5%であった。また、黒字に転換した業者の割合、赤字に転落した業者の割合は、ともに花き部が最も多くなった。2期連続して赤字となった業者の割合は、水産物部が最も多くなった。

営業損益の状況 (2期間) (表2-7)

()内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全体	40.3% (38.8%)	11.8% (12.4%)	10.6% (11.5%)	32.5% (35.2%)	4.8% (2.1%)
水産物部	36.6% (37.3%)	11.6% (12.1%)	12.1% (12.1%)	33.7% (36.4%)	6.0% (2.1%)
青果部	45.2% (41.1%)	12.3% (11.0%)	7.6% (10.7%)	32.2% (34.6%)	2.7% (2.6%)
花き部	44.0% (42.8%)	19.5% (16.7%)	14.6% (14.3%)	19.5% (26.2%)	2.4% (0.0%)
食肉部	65.5% (40.0%)	0.0% (32.0%)	3.8% (4.0%)	26.9% (24.0%)	3.8% (0.0%)

(8) 営業利益率の変化

営業利益率は、全体としては前年に比べ上昇した。部類ごとにみると、花き部は若干下降したが、その他の部類は上昇した。食肉部は、マイナスからプラスに転換した。

営業利益率（表 2－8）

	平成 26 年	平成 27 年
全 体	0.38 %	0.57 %
水産物部	0.00 %	0.22 %
青果部	0.69 %	0.89 %
花き部	0.57 %	0.56 %
食肉部	△0.07 %	0.21 %

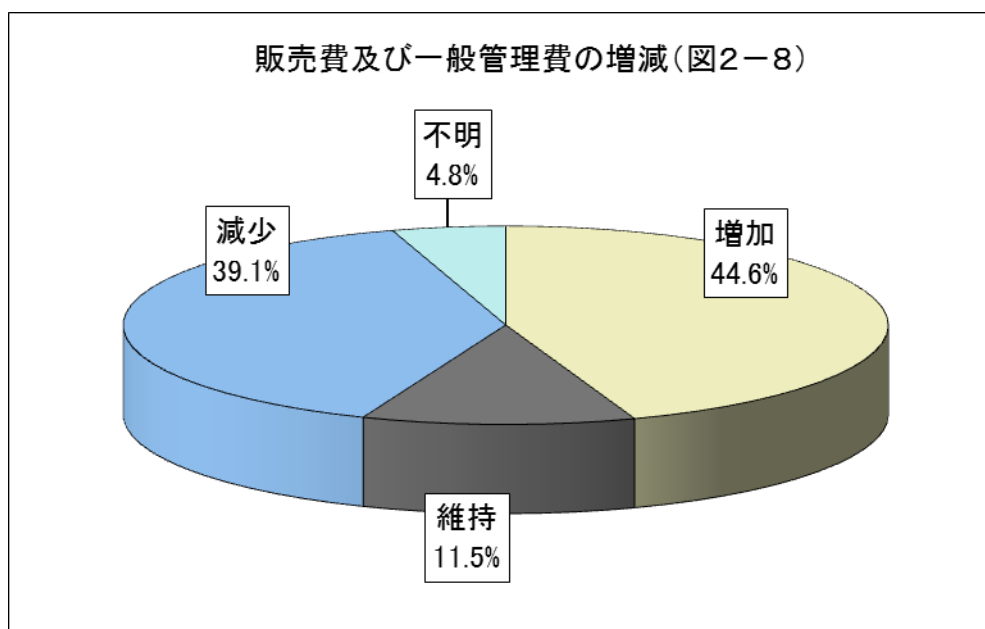
営業利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合をみると、水産物部では下降した業者が上昇した業者を上回り、青果部及び食肉部では上昇した業者が下降した業者を上回った。食肉部では上昇した業者が半数を超えた。花き部では上昇した業者と下降した業者が同数であった。

営業利益率の変化（表 2－9）

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	47.7 %	47.5 %	4.8 %
水産物部	46.3 %	47.7 %	6.0 %
青果部	48.8 %	48.5 %	2.7 %
花き部	48.8 %	48.8 %	2.4 %
食肉部	65.4 %	30.8 %	3.8 %

(9) 販売費及び一般管理費の増減

販売費及び一般管理費（以下、「販管費」）が減少した業者は39.1%であり、増加した業者は44.6%となった。



水産物部では、販管費が増加した業者と減少した業者の割合は同数であった。その他の部類では、増加した業者が減少した業者を上回った。

販売費及び一般管理費の増減（表2-10）

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全体	44.6 %	11.5 %	39.1 %	4.8 %
水産物部	41.2 %	11.6 %	41.2 %	6.0 %
青果部	51.1 %	11.3 %	34.9 %	2.7 %
花き部	46.3 %	9.8 %	41.5 %	2.4 %
食肉部	42.3 %	15.4 %	38.5 %	3.8 %

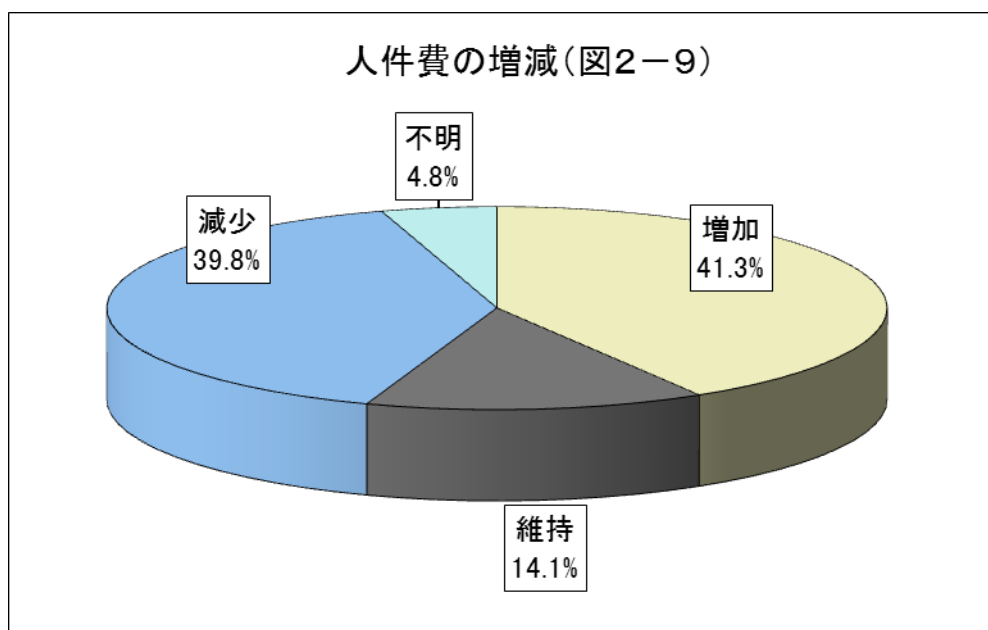
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(10) 人件費の増減

販管費の大半を占める人件費（※）が減少した業者は39.8%、増加した業者は41.3%、維持した業者は14.1%となり、増加した業者が減少した業者を上回った。

※ 人件費とは、役員報酬、給与手当、福利厚生費、退職共済掛金など

※ 前年調査 減少42.6%、増加39.7%、維持15.6%、不明2.1%



部類別にみると、青果部、花き部、食肉部は増加した業者が減少した業者を上回り、水産物部は減少した業者が増加した業者を上回った。

人件費の増減（表2-11）

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全体	41.3%	14.1%	39.8%	4.8%
水産物部	37.8%	14.7%	41.5%	6.0%
青果部	46.8%	13.3%	37.2%	2.7%
花き部	51.2%	9.8%	36.6%	2.4%
食肉部	46.2%	15.4%	34.6%	3.8%

※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(11) 人件費比率の変化

売上高対人件費比率は、全部類で下降した。

売上高対人件費比率（表2-12）

	平成26年	平成27年
全体	6.59%	6.28%
水産物部	8.74%	8.08%
青果部	5.73%	5.64%
花き部	9.29%	9.24%
食肉部	2.95%	2.54%

売上総利益対人件費比率は、全体では前年に比べ下降した。部類別にみると、水産物部、青果部、食肉部では下降し、花き部では上昇した。

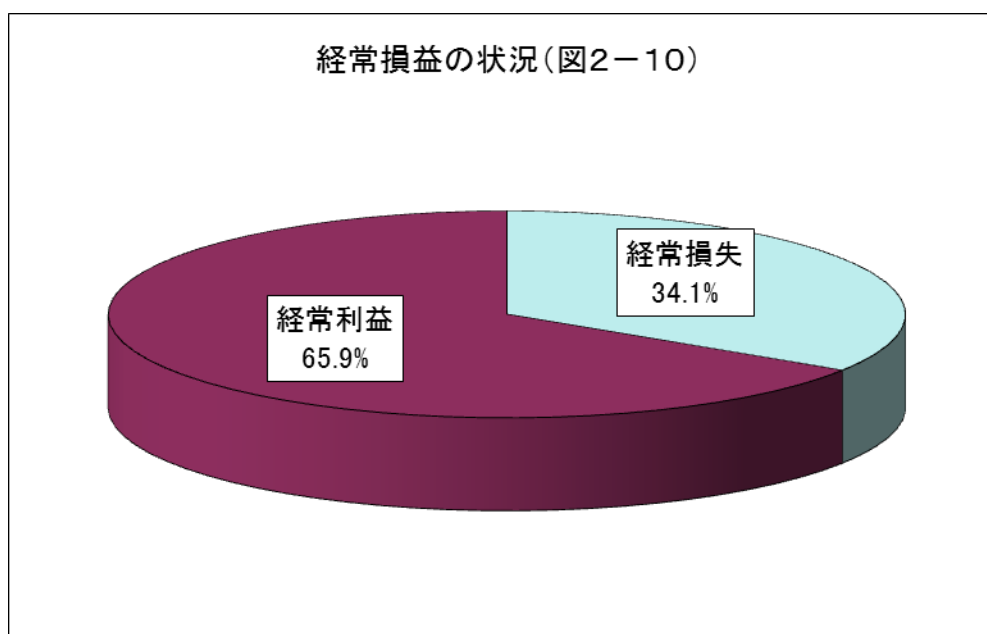
売上総利益対人件費比率（表2-13）

	平成26年	平成27年
全体	51.88%	49.98%
水産物部	59.18%	56.49%
青果部	47.44%	46.00%
花き部	53.57%	54.28%
食肉部	39.89%	36.25%

(12) 経常損益の状況

経常利益(黒字)を計上した業者の割合が65.9%、経常損失(赤字)を計上した業者の割合が34.1%と、前年に比べ黒字業者の割合が3.1ポイント増加した。

※ 前年調査では、黒字：赤字 = 62.8%：37.2%



前年と比較すると、全ての部類で黒字業者の割合が増加した。

経常損益の状況(表2-14)

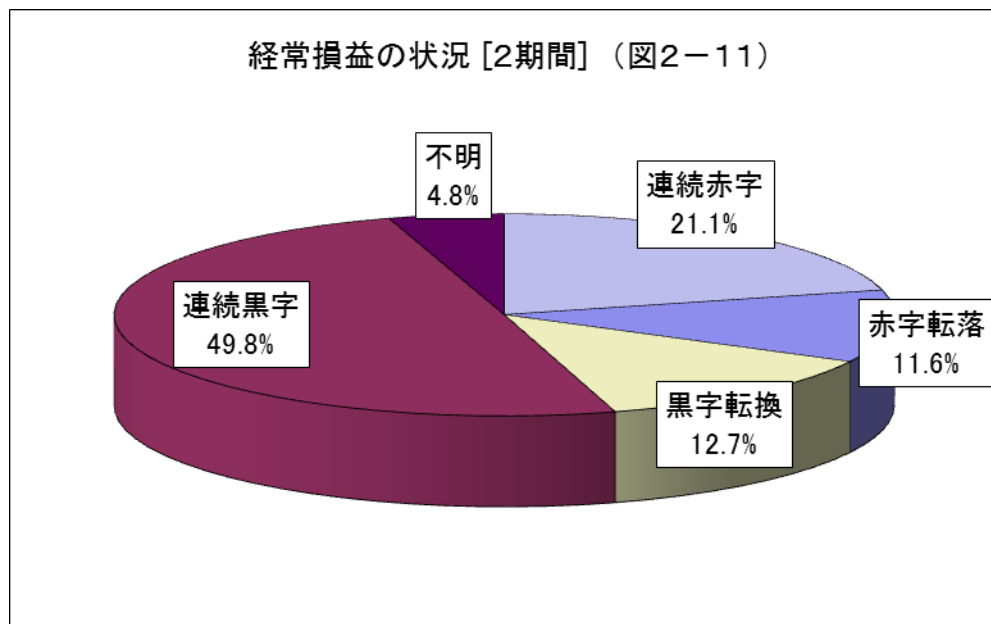
() 内は前年調査の数値

	経常利益 [黒字業者]		経常損失 [赤字業者]	
全体	65.9%	(62.8%)	34.1%	(37.2%)
水産物部	61.6%	(58.5%)	38.4%	(41.5%)
青果部	73.1%	(70.6%)	26.9%	(29.4%)
花き部	70.7%	(64.3%)	29.3%	(35.7%)
食肉部	76.9%	(72.0%)	23.1%	(28.0%)

(13) 経常損益の状況 (2期間)

経常損益が2期連続して黒字計上となった業者は49.8%となり、前年と比べ増加した。一方、2期連続して赤字計上となった業者は21.1%となり、前年に比べると減少した。また、黒字に転換した業者の割合が12.7%、赤字に転落した業者の割合が11.6%となった。

※ 前年調査 連続黒字49.1%、連続赤字24.0%、黒字転換12.7%、赤字転落12.1%



部類別にみると、連続黒字業者の割合は青果部、食肉部では5割を超えたが、水産物部、花き部では5割に届かなかった。

経常損益の状況 (2期間) (表2-15)

() 内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全体	49.8% (49.1%)	12.7% (12.7%)	11.6% (12.1%)	21.1% (24.0%)	4.8% (2.1%)
水産物部	44.9% (45.9%)	12.4% (11.7%)	11.9% (13.3%)	24.8% (27.0%)	6.0% (2.1%)
青果部	58.7% (55.1%)	12.3% (13.9%)	11.0% (10.0%)	15.3% (18.4%)	2.7% (2.6%)
花き部	48.9% (50.0%)	19.5% (14.3%)	14.6% (16.7%)	14.6% (19.0%)	2.4% (0.0%)
食肉部	61.6% (52.0%)	15.4% (20.0%)	7.7% (0.0%)	11.5% (28.0%)	3.8% (0.0%)

(14) 経常利益率の変化

経常利益率は、全体では0.79%と前年を上回った。部類ごとにみると、花き部では下降したが、その他の部類では上昇した。

経常利益率（表2-16）

	平成26年	平成27年
全体	0.68%	0.79%
水産物部	0.40%	0.60%
青果部	0.97%	1.06%
花き部	0.55%	0.42%
食肉部	0.07%	0.26%

経常利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合をみると、水産物部では下降した業者が上昇した業者を上回り、青果部及び食肉部では上昇した業者が下降した業者を上回った。食肉部では上昇した業者が7割を超えた。花き部では上昇した業者と下降した業者が同数であった。

経常利益率の変化（表2-17）

	上昇した業者	下降した業者	不明
全体	47.7%	47.5%	4.8%
水産物部	45.0%	49.0%	6.0%
青果部	50.5%	46.8%	2.7%
花き部	48.8%	48.8%	2.4%
食肉部	76.9%	19.3%	3.8%

(15) 従事員1人当たり売上高

従事員1人当たり売上高は、水産物部と食肉部で増加し、花き部と青果部で減少した。

従事員1人当たり売上高(表2-18)

	平成26年	平成27年
全体	8,060 万円	8,321 万円
水産物部	5,819 万円	6,299 万円
青果部	9,829 万円	9,715 万円
花き部	4,840 万円	4,541 万円
食肉部	19,704 万円	22,507 万円

従事員1人当たり売上高が増加した業者数と減少した業者数の割合をみると、水産物部、青果部、食肉部では増加した業者が上回ったが、花き部では減少した業者が上回った。

従事員1人当たり売上高の増減(表2-19)

	増加した業者	減少した業者	不明
全体	51.6 %	43.4 %	5.0 %
水産物部	49.7 %	44.1 %	6.2 %
青果部	54.9 %	42.1 %	3.0 %
花き部	41.5 %	56.1 %	2.4 %
食肉部	76.9 %	19.3 %	3.8 %

(16) 従事員1人当たり売上総利益

従事員1人当たり売上総利益は、花き部で減少し、その他の部類では増加した。

従事員1人当たり売上総利益(表2-20)

	平成26年	平成27年
全体	1,024 万円	1,045 万円
水産物部	859 万円	900 万円
青果部	1,186 万円	1,192 万円
花き部	839 万円	773 万円
食肉部	1,457 万円	1,577 万円

従事員1人当たり売上総利益が増加した業者数と減少した業者数の割合をみると、青果部と食肉部では増加した業者が上回り、水産物部と花き部では減少した業者が上回った。

従事員1人当たり売上総利益の増減(表2-21)

	増加した業者	減少した業者	不明
全体	47.8 %	47.2 %	5.0 %
水産物部	45.4 %	48.4 %	6.2 %
青果部	50.8 %	46.2 %	3.0 %
花き部	43.9 %	53.7 %	2.4 %
食肉部	73.1 %	23.1 %	3.8 %

(17) 従事員1人当たり人件費

従事員1人当たり人件費は、水産物部では前年と同額であったが、その他の部類では減少した。

従事員1人当たり人件費(表2-22)

	平成26年	平成27年
全体	531万円	522万円
水産物部	509万円	509万円
青果部	563万円	548万円
花き部	449万円	419万円
食肉部	581万円	571万円

従事員1人当たり人件費が増加した業者数と減少した業者数の割合をみると、水産物部では減少した業者が上回り、花き部及び食肉部では増加した業者が上回った。青果部は同数であった。

従事員1人当たり人件費の増減(表2-23)

	増加した業者	減少した業者	不明
全体	45.8%	49.2%	5.0%
水産物部	43.6%	50.2%	6.2%
青果部	48.5%	48.5%	3.0%
花き部	53.7%	43.9%	2.4%
食肉部	53.8%	42.4%	3.8%